

## センターからのお知らせ

### ◆横浜市は HIV(エイズ)の臨時検査を行います。

- 検査は全て無料・匿名です。
- 検査結果は一週間後に直接ご本人にお知らせします。電話・郵送ではお知らせしません。
- 匿名検査のため証明書は発行できません。
- 検査の詳細につきましては、各会場（実施機関）へお問い合わせください。
- 予約が必要な所は電話で必ず予約・確認のうえお越しください。不要な所は当日受付時間内に直接会場へお越しください。
- お問い合わせ・ご予約は次の時間をお願いします。月～金 8：45～12：00、13：00～17：00

検査日/結果日	受付時間	会場	検査項目(定員)	予約	最寄駅	予約・問い合わせ電話番号
12月1日(火) /12月8日(火)	10:00～14:00 /10:00～12:00	金沢福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(特になし)	不要	京急線 金沢八景駅 京急線・シーサイドライン線 金沢八景駅	045-788-7840
12月1日(火) /12月8日(火)	11:00～11:30 /11:00～11:30	瀬谷福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(15人)	要	相鉄線 三ツ境駅	045-367-5744
12月2日(水) /12月9日(水)	9:00～11:00 /9:30～10:00	旭福祉保健センター	HIV(12人)	要	相鉄線 鶴ヶ峰駅	045-954-6146
12月2日(水) /12月9日(水)	9:30～10:00 /9:00～9:30	神奈川福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(特になし)	要	JR線 東神奈川駅 東横線 反町駅 京急線 仲木戸駅	045-411-7138
12月2日(水) /12月9日(水)	9:30～10:00 /9:30～10:00	栄福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(5人)	要	JR線 本郷台駅	045-894-6964
12/4(金) /12月11日(金)	13:30～14:00 /14:00～14:30	港南福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(3人)	要	市営地下鉄ブルーライン 港南中央駅	045-847-8438
12月7日(月) /12月14日(月)	9:00～9:30 /9:00～10:00	青葉福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(10人)	要	東急田園都市線 市が尾駅	045-978-2438
12月8日(火) /12月15日(火)	14:00～14:30 /15:00～15:30	鶴見福祉保健センター	HIV・梅毒(6人)	要	JR線 鶴見駅 京急線 京急鶴見駅	045-510-1832
12月9日(水) /12月16日(水)	9:30～10:00 /9:00～9:30	神奈川福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(特になし)	要	JR線 東神奈川駅 東横線 反町駅 京急線 仲木戸駅	045-411-7138
12/11(金) /12月18日(金)	13:30～14:00 /14:00～14:30	港南福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(3人)	要	市営地下鉄ブルーライン 港南中央駅	045-847-8438
12月14日(月) /12月21日(月)	9:00～9:30 /10:40～11:10	磯子福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(3人)	要	JR線 磯子駅	045-750-2445
12月15日(火) /12月22日(火)	14:00～14:30 /15:00～15:30	鶴見福祉保健センター	HIV・梅毒(6人)	要	JR線 鶴見駅 京急線 京急鶴見駅	045-510-1832
12月16日(水) /12月24日(木)	9:30～10:00 /9:30～10:00	栄福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(5人)	要	JR線 本郷台駅	045-894-6964
12月17日(木) /12月24日(木)	18:00～19:30 /18:00～19:30	横浜AIDS市民活動センター	HIV・梅毒・B型肝炎(特になし)	不要	JR線/市営地下鉄ブルーライン 関内駅	045-671-2729 (横浜市健康福祉局健康安全課)
12/18(金) /12月25日(金)	13:30～14:00 /14:00～14:30	港南福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎(3人)	要	市営地下鉄ブルーライン 港南中央駅	045-847-8438
2016年 1月14日(木) /1月21日(木)	18:00～19:30 /18:00～19:30	横浜AIDS市民活動センター	HIV・梅毒・B型肝炎(特になし)	不要	JR線/市営地下鉄ブルーライン 関内駅	045-671-2729 (横浜市健康福祉局健康安全課)

### ◆休館のお知らせ

- 臨時休館：11月21日(土)世界エイズデー街頭キャンペーンのため  
 11月23日(月・祝)池袋エイズフェス、ウエルカムフェスタ参加のため  
 12月10日(木)・2016年1月14日(木)15時以降閉館、臨時検査のため  
 12月17日(木)・2016年1月21日(木)17時以降閉館、臨時検査のため
- 冬季休館：12月28日(月)～2016年1月4日(月)  
 ※12月29日(火)の横浜市夜間検査も休みとなります。



# おーぷん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>



発行：横浜 AIDS 市民活動センター  
 公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番  
 地尾上町ビル 9F / TEL: 045-650-5421  
 FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaic.gr.jp  
 平日: 13:00～20:00 / 土・祝: 10:00～17:00  
 休館: 日 / 火  
 監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

## 2015年世界エイズデー特集 HIV・エイズと共に生きる

### ★秋冬のイベント・講座情報★

### ♠街頭キャンペーン「世界エイズデー in Yokohama 2015」♠

日時：2015年11月21日(土) 11時～16時30分  
 会場：新都市プラザ(横浜駅東口 横浜そごう前地下広場)

入場自由・無料の  
 イベントだよ♪

主催：横浜 AIDS 市民活動センター  
 協力：公益財団法人横浜 YMCA、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会 STI 予防啓発委員会、認定 NPO 法人 AIDS ネットワーク横浜、NPO 法人 SHIP、アジアの女性と子どもネットワーク



2014年開催の様子



今年もやります♪  
 大人気のバルーンアート♪

### ◆公開講座「エイズの授業～参加型学習の組み込み方」◆

HIV・エイズの授業の際に、参加型学習『水の交換』を取り入れると参加者の理解が深まります。中高での実践経験豊富な講師が、準備～授業の入り方～実施～まとめまでの流れをお話します。

※水の交換とは：HIV が人から人へ感染していくことを実感できる感染シミュレーションゲーム。今回は専用液を使う方法と色紙を使う方法の2通りを学びます。

講師：認定 NPO 法人 AIDS ネットワーク横浜

日時：2015年12月19日(土) 13:00～14:30

会場：横浜 AIDS 市民活動センター(定員 15 人)事前申込制

費用：無料



↑2014年講座の様子

お申込み方法：

件名に「講座申し込み」、本文にお名前とご連絡先をご記載の上、以下の E-mail か FAX でお送りください。折り返し、ご連絡いたします。(1週間以上も返信がない場合はお手数ですがお電話ください。)

お申し込み先 横浜 AIDS 市民活動センター E-mail: info@yaic.gr.jp FAX: 045-650-5422

講座に関するお問い合わせ：横浜 AIDS 市民活動センター

TEL: 045-650-5421 FAX: 045-650-5422 E-mail: info@yaic.gr.jp

★予告★よこはま国際フォーラム 2016(2016年2月6日(土)～7日(日)、JICA 横浜)で HIV・エイズ基礎知識講座を行います！詳細は 2016 年 1 月にセンターの HP でご案内します♪ <http://www.yaic.gr.jp/>

## 暮らしのなかのHIV・エイズ

HIVに感染しても早期発見・早期治療により、より長く生きていくことが期待できるようになり、HIV陽性者（HIV感染者）は通院や服薬など、健康に気を付けながら日常生活を送っています。暮らしのなかでは、どのような悩みを抱えているのでしょうか。

### HIV陽性者はどの年代に多いの？

2014年エイズ発生動向の報告によると、

新規HIV感染者（1,091件）は年齢別では20～30歳代に集中  
新規エイズ患者（455件）は特に30歳代以上が多い

## 2015年世界エイズデー特集 HIV・エイズと共に生きる

安心して暮らせる社会をつくらう！

## レッドリボンであらわそう！“理解と支援”

つまり、働き世代に多い！  
勉強、仕事、恋愛、結婚など、様々な出来事が起こったり色々な人と出会ったりする時期！

レッドリボンは、

### “HIV・エイズと共に生きる人たちへの 理解と支援のシンボル”

もともとヨーロッパでは病気や事故で若くして亡くなった人たちへの哀悼を表すために、赤いリボン（レッドリボン）をつける古い風習がありました。1980年代の終わりごろから、アメリカでエイズによって亡くなっていったアーティストたちをしのび、仲間がレッドリボンを付け始めました。その後、レッドリボン運動は世界に広がりました。リボン運動の先駆けです。



### 暮らしのなかで悩むことはどんなこと？

※1

※1 状況は個人によって異なります。ここでは、代表的な悩みを紹介しています。

#### 恋愛

パートナーである相手へ HIV 感染のことをいつ、どのように伝えたらよいのか、悩む人は多いです。恋愛をしたいという気持ちそのものをおさえてしまう人もいます。

一方で、“HIV を意識したことで、以前よりも相手との関係を大事に思ったり、安定した関係を望むよう変化した人たちもいます。”

「Living with HIV」(ふれいす東京,2013)

#### 仕事

『職場と HIV/エイズ』の調査によると、働く陽性者の内、「職場の誰かに病名を伝えている」人の割合は26%でした。※2

職場で知らない間に病名が知られてしまうのではないかと、もしも間違った知識を持っている人たちだった場合、差別や偏見を受けてしまうのではないかと、不安を感じる人が多いようです。

※2 病気はとてもプライベートなことです。職場に必ずしも伝えなければいけないというわけではありません。

「職場と HIV/エイズ」(厚労科学研究費補助金エイズ対策研究事業「地域における HIV 陽性者等支援のための研究班」,2013)

HIV・エイズの基礎知識や  
理解がない人だったらどうしよう…  
といった悩みが多い！



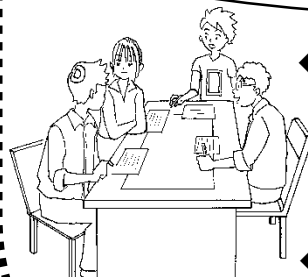
### 安心して暮らせる社会をつくるために、 私たちができることは？

#### ◆HIV・エイズの基礎知識を学んで、正しく理解しよう

一人ひとりが正しい知識を得て、理解を深めていくことが大切です。横浜にもたくさんの HIV 陽性者が暮らしています。将来、仕事や趣味など様々な暮らしの場面で知り合ったり、仲良くなったりするかもしれません。

#### ◆できることから始めてみよう

一人ひとりが暮らしている場所で行動していきましょう。“理解と支援のシンボル”であるレッドリボンを身につけることから始めてみませんか？イベントやキャンペーンに参加してみるのもおすすめです！



平成 27 年度 世界エイズデーキャンペーン

テーマ【AIDS IS NOT OVER だから、ここから】



HIV・エイズの流行はまだ終わっていません。

だからこそ、

一人ひとりが、それぞれの立場から

「予防、治療、支援、理解」について考え、行動してほしい！  
そんなメッセージが、このテーマには込められています。

12月1日が  
世界エイズデーだよ！

詳細はエイズ予防情報ネットへ → <http://api-net.jfap.or.jp/>

